

2024 年度（2025 年 3 月期）決算説明会における質疑応答

日 時 2025 年 5 月 16 日（金） 14:00 ～ 15:00
形 式 本社での対面と Web のハイブリッド形式
説 明 者 代表取締役社長 CEO 兼 COO 奥田 久栄
取締役副社長執行役員 CFO 酒入 和男

【2024 年度決算】

質問	回答
現預金 1 兆 2,616 億円の水準についてどう考えているか。	<ul style="list-style-type: none">・ 現預金の多くは燃料トレーディング事業によるものであり、ウクライナ侵攻等、有事に鑑みたエクスポージャーの水準で流動性を確保できるだけの現預金をもつことが適正と考えている。昨今の不安定な地政学上の情勢を踏まえ、必要な現預金を保持した結果と言える。・ 今後の適正水準については、検討を進めていきたい。
本決算に基づく配当はどうなるのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 合併契約書等に規定の配当ルールに則り、株主とも協議の上対応予定。

【2025 年度見通し】

質問	回答
2025 年度期ずれ除き利益において、収支に影響を与える感応度について教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・ 期ずれ除き利益では、為替、原油価格とも、大きな影響は無いと考えている。
2025 年度目標として開示している当期利益以外の各種目標値に対する到達見込みについて教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none">・ 大部分の目標値は達成可能と見込んでいるが、想定以上に自己資本が膨らんでおり、ROIC の目標達成は厳しい見込みである。・ 自己資本が膨らんでいる事由として、為替換算調整影響や、計画以上の利益剰余金積み上がり等の要因があると分析している。・ 中長期的には、LNG バリューチェーンの活用などを軸に収益性を高め、資本効率性向上に向け尽力して参る。

【成長戦略の進捗について】

質問	回答
今後 5 年間程度でどのように実力利益をあげていくのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上流から下流までの LNG バリューチェーンをフルに活かす形で今後 5 年程度はしっかりと利益を創出していききたい。LNG の事業環境は良好であり、JERA GM の最適化による利益獲得機会のポテンシャルは非常に大きい。また、ガス火力発電が持つ柔軟性の価値を訴求し販売につなげていくことも重要と考えている。
2026 年度以降の電力販売についてどう考えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場制度も十分に活用しながら、内外無差別に電力卸売を行うなかで、中長期的な観点を含め、発電から得られる利潤を最大化していきたい。
現在の再エネ事業をとりまく事業環境をどう捉えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洋上風力については、資機材コストの上昇等、厳しい事業環境下という認識を持っており、慎重な見方をしている。生き残りをかけて競争力確保に努めるべく、JERA Nex bp 設立等の施策を打っていく。 ・ 洋上風力以外の再エネについては、国ごとに多様化してローカル色の強いビジネスになると想定している。各国の国策やマーケット特性、地理的条件に応じた再エネと、当社の低炭素火力を組み合わせたクリーンエネルギー供給基盤を提供することにより、各国が抱える課題の解決に貢献するモデルを構築していきたい。
2026 年度から本格的に導入予定である排出量取引制度 (GX-ETS) について、どう考えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンな電力を経済的に作ることの重要性が増す競争環境になっていくものと想定しており、当社の戦略とアラインしているものと考えている。
カーボンニュートラルやトランジションへの投資を行う中で、どのようなファイナンス支援を政府に働きかけていきたいか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のエネルギー業界は政策変更リスクが大きいいため、ファイナンス単独ではなく、事業の予見可能性を高める制度設計や制度支援と一体となった形でファイナンス支援があればありがたい。
資本政策をどう考えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成長戦略実行のため、資本の増強は必要という認識でいるものの、手段やタイミングについて、決定事項は無い。

以 上

将来の見通しの記述について

本資料にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づいたものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、為替レート等不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本資料の記述と異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。